

黒田 俊一(くろだ しゅんいち)

大阪大学 産業科学研究所 生体分子反応科学研究分野 教授
株式会社香味醱酵 取締役・最高科学担当



- 1961年： 福岡市生まれ、大分市育ち、関西歴40年目更新中
- 1984年： 京都大学農学部農薬科学(藤田稔夫教授)卒業
- 1986年： 京都大学大学院農学研究科微生物科学(左右田健次教授)修了
同年： 武田薬品工業株式会社 入社(生物工学研)
- 1992年： 京都大学博士(農学)取得
- 1994年： 神戸大学バイオシグナル研究センター助手(西塚泰美教授)
- 1996年： 同助教授 昇任
- 1998年： 大阪大学 産業科学研究所 助教授 転任(谷澤克行教授)
- 2009年： 名古屋大学 大学院 生命農学研究所(産業生命工学研究所)教授 昇任
- 2015年： 現職に転任

その間、大阪大学産業科学研究所副所長、同AIセンター長、ジュネーブ大学医部客員教授の他、静岡大学、京都大学、名古屋工業大学、東北大学、東京工業大学等の非常勤講師、片山化学工業株式会社等の技術顧問を務める。

特に、株式会社ジェノラックBL(茨木市)、株式会社ビーフル(岡山市)、BoneBiologics(CA, USA)及び株式会社香味醱酵(大阪市)の創業者・CSO・取締役を歴任している。

また、『日本農芸化学会技術賞』『日本農芸化学会奨励賞』『バイオビジネスコンペJAPAN優秀賞』『日本バイオベンチャー大賞文部科学大臣賞』『内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」経済産業大臣賞』等も受賞している。

これまでは、ウイルス感染機構に基づく生体内ピンポイントデリバリーシステムの開発(ビーフルを創業)、全自動1細胞解析単離装置の開発および1細胞育種への応用(アズワンから製品化)、新規骨形成因子 NELL1の基礎研究および臨床応用(BoneBiologicsにより米国で臨床開発中)、バイオセンサーにおけるセンシング分子ナノレベル整理化技術の開発(ビーフルから製品化)などのバイオ医薬品・試薬・機器の基礎研究、開発研究、社会実装を目指してきた。

2017年5月15日に新規事業の立ち上げに長けたビジネスプランナー兼デザイン会社の代表で永年の友人でもある久保賢治氏と「嗅覚受容体の反応性に基づく全ての匂いの定量的表現法」に事業化の大きな可能性を感じ株式会社香味醱酵を創業した。

2020年5月現在、英語原著論文164報、総説63報、著書分担60編、特許申請(原特許単位)58件、特許登録32件、報道回数(テーマ単位)39回。